

2014年12月12日

「2014グランドスラム・東京」で 近藤亜美選手、稲森奈見選手が優勝、中村美里選手が3位入賞！

12月5日(金)～7日(日)に東京体育館で開催された「2014グランドスラム・東京」に当社女子柔道部(監督:柳澤 久)から4名の選手が日本代表として出場し、近藤亜美選手(48kg級)、稲森奈見選手(78kg超級)が優勝、中村美里選手(52kg級)が3位に入賞しました。

【大会結果詳細】※IJF(国際柔道連盟)ランキングは大会出場時点⇒現時点です。

近藤亜美選手(48kg級・IJFランキング8位⇒3位) **優勝**

初戦(2回戦)を払腰、3回戦を払巻込で一本勝ち順当に勝ち上がり、準決勝ではジョン・ポキョン(韓国・同14位)に崩上四方固で一本勝ち、決勝戦へ進出。
決勝戦では2010年、2011年の世界選手権金メダリストの浅見八瑠奈選手(コマツ・同31位)と対戦。試合開始9秒に巴投で有効を奪うと、終始攻めの柔道で優勢勝にて優勝。2連覇を達成しました。

稲森奈見選手(78kg超級・同30位⇒15位) **優勝**

初戦を横四方固で一本勝ちすると、2回戦はロンドンオリンピック金メダリストのオルティス選手(キューバ・同1位)と対戦し、終始攻め続けて指導2で優勢勝し、準決勝に進出しました。準決勝は今年度の皇后盃全日本選手権で優勝した山部佳苗選手(ミキハウス・同6位)に得意の払腰(有効)からの袈裟固で一本勝ち。
迎えた決勝戦は朝比奈沙羅選手(渋谷教育学園渋谷高校3年・同66位)と対戦し、大内刈で一本勝ち。グランドスラム初優勝を飾りました。

中村美里選手(52kg級・同12位⇒12位) **3位**

1回戦を合技で一本勝ちすると2回戦はコーエン選手(イスラエル・同6位)に上四方固で一本勝ち。3回戦はベルモイ選手(キューバ・同7位)に小内刈の技あり2回で合せて一本勝ちし、順当に勝ち上がりました。準決勝は橋本優貴選手(コマツ・同11位)に送襟絞で一本負けしましたが、3位決定戦ではミランダ選手(ブラジル・同4位)に小外掛で技ありをとり、横四方固の技ありで合せて一本勝ちし、3位入賞となりました。

新井千鶴選手(70kg級・同12位⇒13位) **1回戦敗退**

初戦、プロコペンコ選手(ロシア・同66位)と対戦し、指導2で優勢に試合を進めていましたが、大内刈を返されて一本負けしました。

以上



2連覇を果たした近藤亜美選手（左から2番目）
写真：アフロスポーツ



初優勝をした稲森奈見選手（左から2番目）
写真：アフロスポーツ



4試合中3試合を一本勝し、3位入賞した中村美里選手
写真：アフロスポーツ